

## 〔編集後記〕

社会科学研究所では1977年以降各学科別の特集号発刊を企画したが、今回の「社会学・人類学」特集号刊行をもって計画は完遂された。

本年度はさらに藤田忠所長と法人事務局の格別の御尽力で念願の年2回発刊が実現されるに至った。かかる記念すべき年度にふさわしい充実した内容の論稿多数をえて、18号(1), (2)を無事刊行でき関係者一同心から感謝申し上げたい。

本号の社会学と人類学の区分は執筆者の担当授業の別を表示するにとどまり、論稿の内容の差によるものではない。本学の特色はむしろこれら両分野の研究者が一致協力して国際的視野拡大の教育に努力する点にある。本号にはまた若手研究者の積極的寄稿がみられ喜ばしい。願わくば今後も「社会科学ジャーナル」各号への新進気鋭の研究成果投稿が望まれる。

終りに、試行錯誤の中にも年2回発刊の大役を無事に果たした編集事務担当者諸氏に心からのねぎらいと感謝を表明しておきたい。

(大森記)